

戸塚区品濃町最終処分場 場外揚水計画について

①改善工事実施前

- 場内汚水が、遮水シートの不備等によって、一部場外の地下水に漏出している。(以下、場内汚水の漏出の影響で環境基準を超過している地下水を「汚染地下水」とする。)
- 汚染地下水は、地層の傾斜および地下水の勾配の影響から、埋立地の南側を東方向に流下している。
- 東方向に流下した汚染地下水は、猪久保トンネルに浸入している。

②改善工事

- 処分場区域内において、汚染箇所および流下方向を考慮して選定した位置にバリア井戸を新設し、汚染地下水を汲み上げることで、処分場区域外への拡散を防止する。
- 猪久保トンネル内へ浸入した汚染地下水が、川上川水路に流下していることから、猪久保トンネル内への浸入水を下水道に接続する。

※ 本工事の施工方法は、市や施工業者等が工事の進捗と共に随時検討を行います。そのため、現場等の状況によっては、工事内容に若干の調整が生じる可能性があります。工事の進捗状況に関しましては、今後逐次、HP等を通じてお知らせしてまいります。

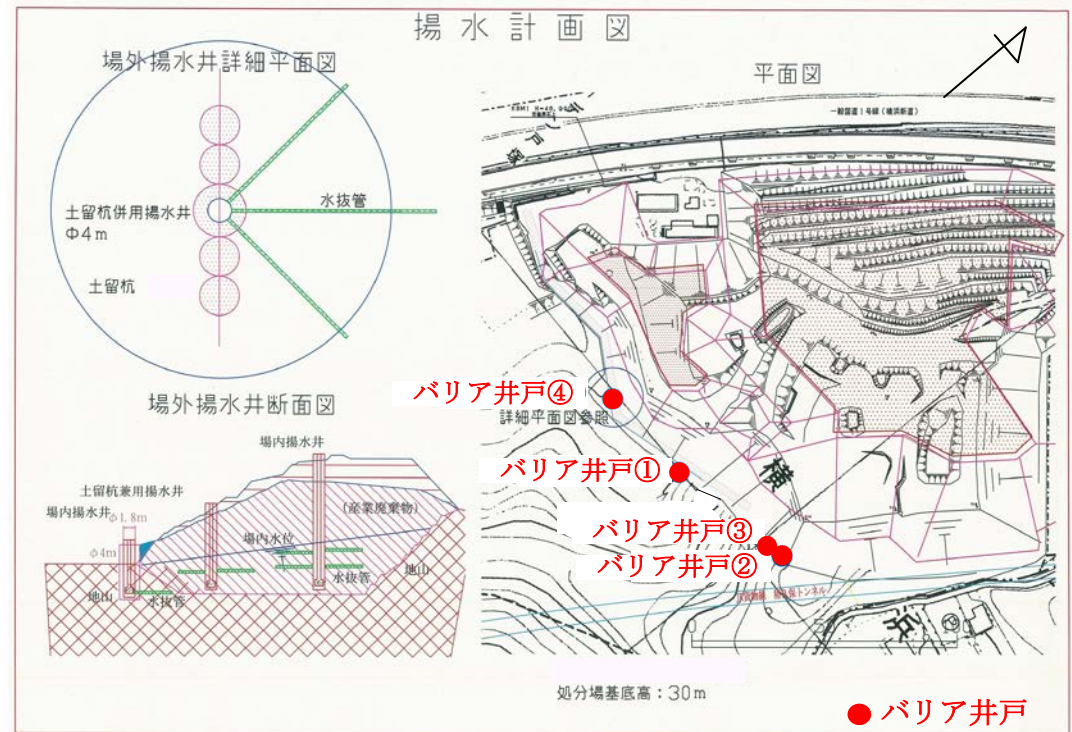


図 バリア井戸 揚水計画図